

安曇野市図書館協議会 会議概要

1	協議会名	平成19年度第1回安曇野市図書館協議会
2	日時	平成19年5月23日 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
3	会場	明科総合支所北第2会議室
4	出席者	齋会長、望月副会長、青木委員、清沢委員、小福委員、千国委員、栗林委員、小林委員、加々美委員、三重野委員、篠島委員、二村委員、熊井委員、堀委員
5	市側出席者	小林教育次長、松枝社会教育課長、曾根原社会教育課長補佐、原野交流学習センター係長、保崎豊科図書館長、尾台穂高図書館長、三澤三郷図書館長、唐沢堀金図書館長、百瀬明科図書館長、有賀文化振興係副主幹、北澤文化振興係副主幹、内川文化振興係主査、財津文化振興係主査、沖交流学習センター係主査、斉藤堀金図書非常勤嘱託職員
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成19年5月25日

協 議 事 項 等

1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開 会 (齋会長)</p> <p>(2) あいさつ (小林教育次長)</p> <p>(3) 協議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">交流学習センター基本構想について</p> <p style="padding-left: 20px;">平成 18 年度事業報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">平成 19 年度事業計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">移動図書館事業の廃止に伴う代替案について</p> <p style="padding-left: 20px;">その他</p> <p>(4) 閉 会 (齋会長)</p>
2	<p>審議概要</p> <p>(1) 豊科、穂高、三郷の各交流学習センター基本構想について(事務局より説明)</p> <p style="padding-left: 20px;">委員・・・(豊科)屋根が大分多いが、雪対策のことは考えているか。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局・屋根に雪止めなどを設置することを考えている。</p> <p style="padding-left: 20px;">委員・・・現在美術館でやっている市民展覧会的なものは、市民ギャラリーに移るとどうか。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局・ほとんどがそうなると思う。</p> <p style="padding-left: 20px;">委員・・・図書館内の音はどうなるか。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局・防音については実施設計の段階で充分検討する。</p> <p style="padding-left: 20px;">委員・・・(三郷)児童館の廊下に面した各部屋に管理上窓が必要では。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局・窓は実施計画でよく検討し設置していきたい。</p> <p style="padding-left: 20px;">委員・・・(穂高)ホールは道路に近い方が大道具、小道具の搬入がしやすい。図書館の資料の保管に関することを考えると西日が当たらない今の位置が良い。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局・現在各図書館に各交流学習センターの配置図を掲示し、市民からの意見を求めている。また博物館協議会、議会の全員協議会でも同様のご説明を行っていく予定。三郷の児童館部分は国、県の補助金の予算がついているため、本年度中に着工したい。</p> <p style="padding-left: 20px;">委員・・・図書館に掲示している資料では建設地がわからない。穂高は穂高の図書館の資料しか掲示されていない。</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局・位置図は近日中に掲示予定。各図書館に3地域すべての資料を配布してあるが、スペースの関係上その地区の交流学習センターの図面しか掲示できなかった。要請があればすべての施設の図面をお見せできるようになっている。</p>

委員・・三郷の交流学習センターには荷物搬入用のエレベーターがないが大丈夫か。
事務局・階段、利用者用エレベーターでの搬入を予定。エレベーターの設置、ランニングコストは大変高額。豊科は美術館補完機能ということで設置を予定しているが、三郷はコスト削減という観点から今のところ設置は考えていない。

(2) 平成18年度事業報告について(事務局より説明)

事務局・資料には掲載していないが、信州大学人文学部と安曇野市が提携しているということもあり、「市民のための情報検索講座」を開催した。今後信州大学図書館と安曇野市図書館との相互貸借を検討中。輸送に関するコストを誰が負担するかというのが問題になってくるが、今のところは利用者の負担で考えている。現在信州大学の本の貸出期間は1週間だが、それを安曇野市民は長く借りることができないかなど検討している。

(3) 平成19年度事業計画について(事務局より説明)

委員・・市民1人当たりの資料代が178円。県内19市のなかでどのような位置かわかる資料を出して欲しい。

事務局・次回の会議でお出ししたい。

委員・・新しく安曇野市に引っ越してきた方に図書館の案内を配るとか、図書カードを配るといふのはどうか。

委員・・前回視察させていただいた滋賀県の図書館の1人当たりの資料代は約600円。安曇野市はそれと比べるとあまりにも少ない。図書費を増やす努力を是非お願いしたい。

委員・・今年度三郷、堀金の図書館の資料購入費が増額になったと書いてあるが、どの程度か。

事務局・約50～60万円程。現在計画中の交流学習センターが開館するまでには、1億円を超える図書・資料を基金等で揃えることになると思う。

(4) 移動図書館事業の廃止に伴う代替案について(事務局より説明)

委員・・障害者サービスを考えるためには障害のある方に委員に入ってもらわなければならない。

委員・・(松本の図書館に係った経験から)視覚障害の方のほとんどは点字図書館から本を送ってもらっている。視覚障害の方についてはあまり図書館におみえにならない。車イスの方は高い書架は使えない。

委員・・移動図書館の代替案とは、資料にある「遠距離地域の地域文庫の設置における支援」といふことか。住民が代替案としてこれをやれば納得するというものがある。

委員・・移動図書館を廃止するという事は、住民1人1人に対するサービスをどうするかということ。それがはっきりするまで移動車の廃止について納得できません。

委員・・この代替案に納得できないなら対案を出すべきではないか。これは行政が検討して自信を持って出した案。

委員・・移動車を利用して地域文庫に配本すればいいではないか。

委員・・障害者サービスの方向についてはこれでいいと思う。

委員・・新着図書の紹介を「広報あづみの」に東京の古書店の古書目録のように載せてはどうか。

委員・・公共交通システムがはじまるので、図書館に来る人に限っては運賃無料としてはどうか。

委員・・図書館から公共機関に届ける方法を検討してはどうか。

事務局・移動図書館を利用している方が、移動図書館を廃止しても今回示した様々なサービスのなかのいずれかのサービスを利用して図書館を利用してもらえるかのではないかと考えている。利用者の方にも個別にお話しさせていただきたいと考えている。

委員・・これだけの代替案があれば、図書館を利用するかどうかは個人または地域の問題。移動図書館を廃止してもいいと思う。

事務局・前回から引き続き移動図書館についてご議論いただいた。現在計画中の交流学習センターは移動図書館を廃止することが盛り込まれた案となっている。そのため安曇野市としては廃止の方向で進ませていただくことは皆様にご承知おきいただくことを前提に、さらに関係者の意見を聞き、皆様に納得していただけるとする案をもう一度お示したい。

(5) その他

事務局・次回の会議について夜実施してほしいとの意見が委員の方からあった。ご検討いただきたい。

会長・・夜は困るという委員の方が多いため、次回も今回と同じ時間帯で開催したい。

委員・・次回はいつ頃の予定か。

事務局・まだ予定していない。会長と相談し通知させていただく。